

**(II)共産主義者同盟赤軍派・関係****●共産主義者同盟赤軍派……………69年・第二次フントの分派**

機関誌『現代革命』I・II・III(……1969)

機関誌『赤軍』NO1～NO8(NO3欠号・共産主義者同盟赤軍派 1969～1970)

機関紙「赤軍」発刊準備号・創刊1号～7号・号外(共産主義者同盟赤軍派・開拓社 1969～)

機関誌『赤軍』特別号(共産同赤軍派日本委員会 1970)

機関誌(紙)「赤軍」8号(共産同赤軍派日本委員会 1971)

機関誌『蜂起』第1号～3号(共産同(赤軍派)・関西 1969)

機関誌『BOCCTAHNE』第1号～(共産同赤軍派茨木県委員会 1970)

『赤軍 共産主義者同盟赤軍派政治理論機関誌総集』(共産同赤軍派(革命戦争編集委員会) 1973)

**●全日本革命戦線(準)……………70年**

機関紙「革命戦線全国通達」第1号～9号(全日本革命戦線(準) 1970)

機関紙「革命戦線」第10号(「革命戦線通達」改題)～(全日本革命戦線(準)全国委員会 1970)

機関誌『赤い星』第1号・2号(革命戦線関西地方委員会、革命戦線全国委員会 1971)

**●統一赤軍(連合赤軍)……………71年・共産同赤軍派+日共革命的左派**

機関紙「銃火」創刊号(「赤軍」政治宣伝部 1971)

**●共産同赤軍派救援対策部……………**

『獄中通信』創刊号～9号(1970～71)

**●日本赤色救援会……………71年**

機関誌『もつぷる』第1号

機関誌『もつぷる通信』第1号～

機関誌『レジスタンス』第1号～(関西もつぷる社・)

『3・31人民集会特集 もつぷる通信特別号』(1 日本赤色救援会 1972)

**●オリオン社**

機関誌『オリオン通信』第1号～8号(1976～)

『世界革命戦争への飛翔』(共産主義者同盟赤軍派編・三一書房 1971)

『アラブゲリラと世界赤軍』(PFLP、共産同赤軍派・京大出版会 1971)

『蜂起貫徹 戦争勝利・大菩薩冒頭陳述集』(京大出版会 1972)

『赤軍詩集』(福岡信孝・私家版 1972)

『ハイジャックと豆の木 爆弾の季節』(関西大学工学部 1972)

『M 曳かれる者の小唄』(新谷富男 1972)

『獄中赤軍派の彼へ キューバのさとうきび刈り、チリの医療列車からの手紙』(中野綾子・市民書房 1972)

『英雄兵士の物語-国家論の発展のために』(上野勝輝・査証出版 1973)

『銃よ、おまえは誰のために』(松田 久・査証出版 1973)

『遺稿 森恒夫』(査証出版 1973)

『日本における労働者階級の状態(上)』(坂東国男・査証出版 1975)  
『銃撃戦と肅清 森恒夫自己批判全文』(高沢皓司編・新泉社 1984)  
『新左翼運動獄中書簡集』(信濃太郎編・新泉社 1994)  
『プロレタリア革命党建設と我々の緊要の任務(上)』(八木健彦 1972)  
『ポーランドの階級闘争と反官僚革命の綱領問題』(萩尾 遼＝西浦隆男 1983)  
『ユーゴスラヴィア労働者自主管理社会主義の歴史的経験について』(萩尾 遼 1984・復刻 2010)  
『やられたらやりかえせ 実録釜ヶ崎・山谷解放闘争』(釜共闘・山谷現闘委編集委員会・田畑書店 1974)  
『独裁問題と日本革命の権力問題 不破哲三「科学的社会主義と執権問題」批判』(植垣康博 1984)  
『兵士たちの連合赤軍』(植垣康博・彩流社 1984)  
『連合赤軍事件関係記事集成』(1～5)(高沢皓司編・高沢オフィス 1988)  
『連合赤軍 27 年目の証言』(植垣康博・彩流社 2001)  
『証言 連合赤軍』第1号～10号(連合赤軍事件の全体像を残す会・情況出版 2004～)  
『連合赤軍 証言』(連合赤軍事件の全体像を残す会・皓星社 2013)  
DVD『実録・連合赤軍 あさま山荘への道程』(CCRE2009)

●共産主義者同盟赤軍派東京都委員会

機関誌『再生にむけて』第1号～4号(共産同赤軍派東京都委員会 1972)  
『共産同赤軍派再建—労働者階級の前衛党建設へ・共産同赤軍派臨時総会報告集』(1973)

●共産主義者同盟赤軍派再建準備委員会

機関誌『人民の軍隊』NO1(共産同赤軍派関西地方委員会 1972)  
機関誌『闘争』第1号・2号(共産同赤軍派再建準備委員会 1973・1974)

●共産主義者同盟赤軍派革命戦争編集委員会

機関誌『革命戦争』第1号・2号(共産同赤軍派(革命戦争編集委員会)1973・1974)

●共産主義者同盟赤軍派釜ヶ崎地区委員会……………72年・若宮正則

機関紙「釜ヶ崎通信」第1号～(共産同赤軍派釜ヶ崎地区委員会 1972)

●共産主義者同盟赤軍派日本労働党建設準備委員会……………72年・花園紀男

『総括資料集』(共産主義者同盟赤軍派日本労働党建設準備委員会・花園紀男・1972)

●日本共産党(正統)神奈川県大和市地区委員会……………75年・花園紀男

機関紙「民族の旗」1号(1975)

●共産主義者同盟赤軍派〇〇地区委員会……………71年・梅内恒夫G

『赤軍への招待』(1971)

『共産同赤軍派より 日帝打倒を志す すべての人々へ』(梅内恒夫・「蝶恋花通信」蝶恋花舎 1972)

●共産主義者同盟赤軍派……………=通称・プロレタリア通信派…75年・大久保文人

機関誌『プロレタリア通信』創刊準備号～(共産同赤軍派中央書記局 1973)

●プロレタリア独裁編集委員会……………大久保文人・松平直彦・75年

機関誌『プロレタリア独裁』第1号・2号(プロレタリア独裁編集委員会 1975)

機関紙「プロレタリア独裁」第1号～

●共産主義者同盟赤軍派日本委員会……………74年・高田英生

機関紙「赤軍」復刊9号～12号(共産主義者同盟赤軍派日本委員会 1973)

機関誌『世界気象観測報告書』1～3(「赤軍」13～15号・気象観測協会WRA1973)

機関誌『関西赤軍』(共産同赤軍派関西地方委員会・日本委員会分派 1977))

●共産主義者同盟赤軍派(プロレタリア革命派)

●共産主義者同盟赤軍派(プロ革)……………74年・塩見孝也・八木健彦・高原浩之・永田洋子・坂東國夫

機関誌『塩見孝也論叢』第1号～9号(査証出版 1972～1974)

『一向過渡期世界論の防衛と発展のために』(塩見孝也・査証出版 1975)

機関誌『赤軍』再刊準備1号～4号(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)1974～1986)

機関誌『愛国者』第1号～〇号(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)…) )

機関紙「赤軍」再刊準備号～〇号(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1974～……)

『連赤総括論争』1・2(…)

『連合赤軍総括に向けて』I～IV(1975)

『赤軍 我々の綱領の概観』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1983)

『全国日雇・寄せ場労働者の団結のために』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)山谷地区委員会 1983)

『愛国心と日本プロレタリアート』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1985)

●日本社会科学研究所(マルクス・レーニン主義、毛沢東思想)……………79年・塩見孝也

機関誌『マルクス主義』第1号・2号(日本社会科学研究所 1979)

機関紙「労農通信」第1号～〇号(日本社会科学研究所 1979～)

●塩見孝也救援会……………83年

会報『風雪』(FUH—SETSU)創刊号～(塩見孝也救援会 1983～)

『封建社会主義と現代 塩見孝也獄中論文集』(新泉社 1988)

『対談いま語っておくべきこと—革命的左翼運動の総括』(塩見孝也・川島 豪・新泉社 1990)

『「リハビリ」終了宣言』(塩見孝也・紫翠出版 2002)

●自主日本の会(ぼとい)……………96年塩見孝也

機関誌『春雷』第1号～(自主日本の会・塩見孝也 1996～)

『さらば赤軍派 私の幸福論』(塩見孝也・オークラ出版 2002)

WEB「パトリ」(自主日本の会・塩見孝也…)

●共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派……………75年・共産同赤軍派の分派…高原浩之

機関誌『マルクス・レーニン主義』創刊号・2号(共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派 1975・1979)

機関紙「革命通信」第1号～〇号(共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派 1975～…)

『再び連合赤軍問題に対する総括と提案』(高原浩之 1973)

『破産した赤軍主義・ブント主義を清算し、

マルクス・レーニン主義のプロレタリア革命路線を獲得しよう』(高原浩之 1975)

『我々の綱領草案と解説』(高原浩之・共産主義者同盟(赤軍派)マルクス・レーニン主義編集委員会)

●日本赤軍……………74年

機関誌『テルアビブ闘争支援委員会通信』第1号～2号(テルアビブ闘争支援委員会 1972)

機関誌『世界革命戦線』VOL1～VOL6(世界革命戦線情報センター1973～1974)

機関誌『拒否戦線』VOL1～〇号(拒否戦線 1977～)  
機関誌『人民通信』第1号～9号(日本赤軍 1980～)  
機関誌『SOLIDARITY JAPANESE RED ARMY BULLETIN』NO1～15？(1982)  
機関誌『POLITICAL REVIEW』16～41？(継続誌)  
『JAPAN TODAY』(・・)  
機関誌『人民革命』第1号～(PEOPLES REVOLUTION編集委員会 1990)  
機関誌『movement 連帯』第1号～18号(連帯・ムーブメント連帯 2001～)  
機関紙「連帯ニュースレター」第1号～7号  
機関紙「変えよう！ニッポン」8号(「連帯ニュースレター」改題・ムーブメント連帯 2011～)  
『わが愛わが革命』(重信房子・講談社 1974)  
『隊伍を整えよ 日本赤軍宣言』(世界革命戦線情報センター・査証出版 1975)  
『団結をめざして 日本赤軍の総括』(日本赤軍・人民新聞出版局 1978)  
『国際主義を実践しよう リッダ闘争9周年を迎えて』(日本赤軍 1981)  
『反核・軍縮の闘いを共に リッダ闘争十周年によせて』(日本赤軍 1982)  
『十年目の眼差から』(重信房子・話の特集 1983)  
『大地に耳をつければ日本の音がする』(重信房子・ウニタ書舗 1984)  
『日本赤軍 20 年の軌跡』(日本赤軍・話の特集 1993)  
『赤軍 RED ARMY 1969→2001』(文藝別冊・河出書房新社 2001)  
『日本赤軍私史 パレスチナと共に』(重信房子・河出書房新社・2009)  
『永田洋子さんへの手紙』(坂東国男・彩流社 1984)  
『赤い春 私はパレスチナ・コマンドだった』(和光晴生・集英社 2007)  
『日本赤軍とは何だったのか その草創期をめぐって』(和光晴生・彩流社 2010)  
『革命の季節 パレスチナの戦場から』(重信房子・幻冬社 2012)  
『丸岡 修自述 元・日本赤軍軍事指揮官告白書』(風塵社 2013)  
会報『風の人』準備1号～〇号(城崎さんと共に浮かぶ会 1996～)  
会報『ゆいき凜々』(浴田紀子さんを救援する会 1995～)  
会報『独報』第1号～〇号(和光晴生・・)  
会報『国境のない騎士団』VOL～〇(ハルの会＝和光晴生支援のために 2004)  
会報『泉水国賠通信』1～(発行・水田ふう)  
[会報『泉水国賠つうしん』～](#)  
[会報『オリーブの樹』第1号～〇号\(重信房子さんを支える会・・・\)](#)  
会報『さわさわ』第1号～12号(重信房子さんを支える会・関西 2007)  
通信誌『夢と希望』第1号～〇号(丸岡 修・・)

.....  
『日本を考える 三つの視点』(田宮高麿・ウニタ書舗 1983)  
『わが思想の革命 ピョンヤン 18 年の手記』(田宮高麿・新泉社 1988)  
『飛翔二十年―「よど号」でチョソンへ―』(田宮高麿、小西隆裕、若林盛亮、赤木志郎他・新泉社 1990)

『遺稿 民族論』(田宮高麿さん追想出版委員会編・紫翠会出版 1996)

『田宮高麿著作集第一集』(田宮高麿さん追想出版委員会編・紫翠会出版 1997)

『よど号、朝鮮、タイそして日本』(田中義三・現代書館 2001)

『新しい未来のために 長期下獄を前にして』(田中義三・「かりの会」2003)

『田中義三遺稿追悼集』(田中義三遺稿追悼集刊行委員会 2007)

『謝罪します』(八尾恵・文藝春秋 2002)

『宿命 {よど号} 亡命者たちの秘密工作』(高沢皓司・新潮社 1998)

『高沢「宿命」に対する我々の見解』(かりの会ブックレット 1999)

『欧州留学生拉致問題についての見解』(赤木志郎・若林盛亮・2003)

●「日本を考える」編集委員会……………**81年**

季刊『日本を考える』第1号～30号(「日本を考える」編集委員会・代表田宮高麿 1981～1990)

●「日本の自主と団結のために！」の会……………**90年**

季刊『自主と団結』第1号～8号(「日本の自主と団結のために！」の会」1990～1995)

月間レター通信「お元気ですか」第1号～160号(「日本の自主と団結のために！」の会 1990～2003)

●**アジア新時代研究所** ……………**小西隆裕・03年**

研究誌『アジア新時代と日本』創刊準備号～82号(アジア新時代研究所 2003～2007)

●**かりの会・帰国支援センター**……………**02年**

会報『かりはゆく』第1号～75号(「かりの会」帰国支援センター・2002～)